

図書館基本構想における主な事業の実施状況（案）

全体構想

2022年1月図書館協議会≪資料2-2≫

目次	実施項目	未実施項目	検討項目	今後の対策
P6・P7 図書館サービス網の整備方針 【既存施設の活用】	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体等への団体貸出の実施（市立小中学校、府立たまがわ高等支援学校、府立みどり清朋高校、特別養護老人ホーム、学童保育団体等）【R2年度の団体貸出冊数20,420冊】 ・リージョンセンターへリサイクル資料の譲渡【R2.2～】 ・布施駅前リージョンセンター、楠根リージョンセンターにおいて出張図書館を実施【R3.11～、各リージョンセンターで2週間に1度開催】 			<ul style="list-style-type: none"> ・実施済みサービスの継続的な実施及び拡充の検討 ・リージョンセンターにおける出張図書館の拡大を検討
P8・P9 図書館サービス網の整備方針 【他施設との複合機能化】	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所会館内に永和図書館を開館し、ビジネス支援コーナーを設置【R2.5～】 		<ul style="list-style-type: none"> ・文化複合施設整備基本計画を策定するも、令和2年10月に事業の一旦凍結が決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施済みサービスの継続的な実施及び拡充の検討 ・他の文化財施設と連携したイベント等を継続して実施
P9 図書館サービス網の整備方針 【その他】			<ul style="list-style-type: none"> ・街角図書館の普及促進 ・移動図書館に代わる新たなサービスの更なる模索 	<ul style="list-style-type: none"> ・リージョンセンターにおける出張図書館の拡大を検討 ・移動図書館の各ステーションの利用状況を集約し、最適化を図っていく
P10～P12 図書館サービスの整備方針 【基本サービス】	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒバリヤ書店（本店、コミックランド）での図書返却サービスの実施【H28.4～、R2年度の返却冊数3,638冊】 ・貸出冊数の増加（一人8冊から一人10冊）【H28.4～】 ・開館時間の延長及び開館日数の増加【H28.4～、四条図書館の開館時間を21時まで延長・R3.4～、大蓮分室の日曜日、石切分室の土曜日を新たに開館】 			<ul style="list-style-type: none"> ・実施済みサービスの継続的な実施及び拡充の検討
P12～P17 図書館サービスの整備方針 【特色あるサービス】	<ul style="list-style-type: none"> ・サビエ（視覚障害者情報総合ネットワーク）への加入【H30.4～】 ・身体障害者への宅配サービスの実施【H30.4～、R2年度の貸出冊数441冊】 ・東大阪市内の4大学の図書館一覧リーフレットを作成【H28.10～】 			<ul style="list-style-type: none"> ・実施済みサービスの継続的な実施及び拡充の検討

個別サービス構想

目次	実施項目	未実施項目	検討項目	今後の対策
P20～P25 子育て支援サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ、工作、歌等の親子で楽しめるプログラムの実施【H30.4～】 ・子育て支援コーナーに、育児・子育てに関する資料や子育てサークル・団体等のチラシ等を収集し配架【H30.4～】 ・四条図書館でベビータイム等の実施【R3.10～、毎月1回開催】 		<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施済みサービスの継続的な実施及び拡充の検討 ・保健センターと連携しながら、ブックスタート事業のさらなる充実を図っていく
P26～P28 学校連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校へのお出張講習会等を実施【H29.1～】 ・中学校2年生の職業体験【H28.10～、R1年度18校】 ・大学生対象のインターンシップや司書課程図書館実習の実施【H30年度～】 ・児童、生徒へ読書通帳を配布【H28.4～】 ・学校司書の配置【R3年度～、19名・各小中学校週1日の配置】 ・学校司書連絡会への参加【R3年度～、年間4回開催】 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の開館時間拡大への支援 ・読書通帳用記帳機の配置 ・学校図書館システムの構築及び市立図書館システムとの連携への支援 		<ul style="list-style-type: none"> ・実施済みサービスの継続的な実施及び拡充の検討 ・学校司書の取組への協力により、学校図書館開館時間拡大など学校図書館の充実に繋がるよう支援する ・学校司書と連携して各校のニーズを把握し、市立図書館の蔵書や電子図書館を活用していく
P29～P34 ビジネス支援サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス・就労支援専門資料を約3,100冊所蔵し、ニーズに合ったビジネス支援資料を提供【R2.5～】 ・商用データベース（日経テレコン・JRS経営情報サービス）を導入し、専用のパソコンを設置【R2.5～】 ・ビジネス支援担当職員を配置し、ビジネス支援に特化したレファレンスコーナーを設置【R2.5～】 ・無線LANサービスの提供【H28.10～】 		<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施済みサービスの継続的な実施及び拡充の検討 ・東大阪商工会議所、東大阪労働基準監督署等との連絡会を再開し、定期的な情報交換や意見交換を行う

その他の取組

【電子図書館】

概要
日本最大級の蔵書（令和3年12月末時点で約39,000点）を備えた「ひがしおおさか電子図書館」を令和3年4月に開始しました。24時間いつでも、お持ちのパソコン、タブレット端末やスマートフォンから電子書籍を読むことができ、コロナ禍の中、万一図書館が休館となった場合でも、書籍に触れることが可能となります。また、本市が導入した電子図書館システムは、「障害者差別解消法」の趣旨に沿って、視覚障害者が独力で電子書籍を選んで閲覧、貸出、返却が可能な仕組みとなっており、高いアクセシビリティを提供できます。
電子書籍の特徴
文学や科学、政治、経済、社会、芸術、絵本など一般的な電子書籍のほか、音声タイプのものや基礎的な英語学習ができる多聴多読タイプのもの、さらには、動画や3D画像を取り入れた図鑑などもあります。 《ジャンルごとの書籍数 令和3年12月末時点》 総記:840 哲学:2,011 歴史地理:2,612 社会科学:4,241 自然科学:3,004 技術:2,987 産業:1,200 芸術:2,687 言語:1,583 文学:15,530 動画:805 絵本:1,471 その他:18 【計38,989タイトル】
学校連携
学校連携事業の一環として、令和3年6月下旬に、市立小学校（49校）・中学校（23校）・義務教育学校（2校）・高校（1校）において、全児童生徒（約33,000人）に対して電子図書館IDを付与し、子どもたちが学校や自宅等でより気軽に書籍に触れ合えることができるよう環境を整備しました。
利用状況（令和3年4月～12月）
新規登録者数（うち学校利用）：29,743人（25,868人） 貸出人数（うち学校利用）：78,559人（63,726人） 貸出冊数（うち学校利用）：155,518冊（127,850冊）

構想の追加期間中、重点的に行う施策

【電子図書館】

現構想には記載されていない施策ですが、図書館の基本サービスの向上に繋がるものであり、社会のニーズに対応するため今年度より導入したものです。学校利用を含め、現在多くの方にご利用いただいています。 今後も継続して利用していただくために、適切な広報や利用者のニーズに沿った選書等を行っていきます。
《今後の主な実施予定項目》 ・定期的な広報活動の実施 ・電子図書館体験会の実施 ・コンテンツ内容の充実 ・新たなサービスの検討 等

【学校連携】

学校連携では、出張講習会や職業体験など、これまで様々な施策を実施してきました。また、令和3年度より学校司書が19人新たに配置（1人4校を担当）され、各小中学校（義務教育学校を含む）を週1日巡回しています。 今後、学校図書館との連携をさらに強固なものとし、学校司書連絡会等を通じて学校図書館が抱える課題の解決をサポートしていきます。
《今後の主な実施予定項目》 ・学校司書と連携し、学校図書館の課題抽出とその支援 ・継続的な学校司書連絡会への参加 ・学校での電子図書館の活用を継続して促進 等

【ビジネス支援】

令和2年5月、永和図書館の開館と同時にビジネス支援コーナーを設置しました。ここでは、専門のスタッフや商用データベース用のパソコンを配置しており、これから事業を始めようとする人や営業や企画のためのデータを探している人、また、キャリアアップしようとする人等に必要な資料や情報を提供しています。 今後、商工会議所等との合築施設であることを活かしたイベントなどを実施することで、地域のにぎわい創出と商工業の発展に寄与していきます。
《今後の主な実施予定項目》 ・商工会議所や労働基準監督署等と連絡会を再開し、定期的な情報交換や意見交換を行う ・インターネットやデータベースの使い方など実践的な講習会を開催 等

【子育て支援】

子育て支援サービスとして、これまで読み聞かせや様々なイベントを実施してきました。 また、今年度の新たな取組として、四条図書館で「ベビータイム」をスタートしました。これは、ぐずったり泣いたりする小さな子ども連れの保護者に対し、周りに気兼ねなく図書館を利用していただくことができるよう、週に一度、他の利用者に理解と協力を呼びかけて専用スペースを設けるものです。 今後も色々なイベントや関係機関等との連携を行いながら、子育て中の方が必要としたり関心を持つ情報を収集し提供することで、より安心して子育てができるようサービスのさらなる充実を図ります。
《今後の主な実施予定項目》 ・子育て世代の方々が来館しやすい図書館づくり ・関係機関との連携による必要な情報の収集と提供 等